

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・客との会話の中で、仕事が増えてきているとの話が多くなってきた。特に公共事業関係の仕事をしている人からは、人手が足りない状態になってきたとの声を多く聞くようになった。
(北陸)	やや良く なっている	一般小売店〔精肉〕（店長）	お客様の様子	・今まで以上に客の年齢層に広がりが見えてきた。客単価も少しずつ高いものが売れてきた。
		一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	お客様の様子	・少し大きいコンベンションが2件あったためか、駅周辺は大変なにぎわいがあった。やはり人出が増え、動いてもらえると確実に売上・景気は良くなるものだと実感した。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	単価の動き	・久しぶりに客単価が上がっている。これだけ上がったのは本当に久しぶりである。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・改装中であり、天候、気温も不安定であるが順調に推移している。顧客のモチベーションも徐々に回復しつつある。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・株価の上昇や消費税率の引上げ前という経済効果もあって、顕著にみられるのは高額品が売れるようになってきたことである。1品単価が100万円を超える商品も売れるようになり、以前では考えられない動きがみられる。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・2か月連続で売上の前年同月比が100%を超えている。来客数は前年同月比105%、総売上高も前年同月比で102%となっている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数の動きが良いほうに変わってきた。競合店の状況も踏まえてだが、品ぞろえなど客の要望に沿った成果も出ている。
		コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・特に良い材料は見当たらないのだが前年に比べ天候に恵まれた。この要因のみで来客数は好調であった。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・景気回復ムードと期待された新型車の発売が連動した。前月の不振をばん回して2か月累計で前年を超える実績となった。今後に期待したい。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・今月は月初より来客数が多くなり、それに伴い販売台数も増えてきた。
		乗用車販売店（役員）	来客数の動き	・季節的な要因もあるが、アベノミクスの影響で円安や株高が進行しているため、消費者心理が喚起されて好調な受注状況である。先行き懸念がないわけではないが、この最大需要期は好調に推移するようである。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・乗用車の販売量は前年同月比90%であった。一方、前年11月の販売量は前年同月比80%となっており、回復基調にある。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・株価も回復しており確定拠出年金などはプラスになった、凍結していた株が売れたなど、気持ちにゆとりが出てきた影響か好調に推移した。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊、宴会、レストラン各部門ともに前年同月比で増加している。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・レストランの来客数が少し増えてきている。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・客からのヒアリングにおいて前向きな話が多くなっている。
タクシー運転手	来客数の動き	・今月も例年になく寒い日が続く、積雪は少なかったものの降雪日は多かったように思われる。そのため3か月前よりはやや良かった。タクシーを下駄代わりにすることが多くなってきている。		
通信会社（職員）	それ以外	・円安や株高で先行きに明るい見通しがあることから、景気の浮揚に期待する声が多い。		
通信会社（社員）	販売量の動き	・ユーザーの携帯新機種への期待が高まっている。		
通信会社（営業担当）	単価の動き	・SDカード、フィルム、ケースなどといったスマートフォンの付属品が販売数、単価ともに上がってきている。		
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・2月が春節と重なったこともあり、団体客の動きはインバウンドが前年同月比で大きく伸び、また、国内の団体客も比較的好調だったため、団体客全体では前年同月比2けたの伸びとなった。一方、個人客については、悪天候が続いたために例年よりやや鈍い動きとなったものの、個人客全体としては前年同月をやや上回る状況となった。		

	競輪場（職員）	単価の動き	・客1人当たりの平均購買単価が3か月前と比較して8%増加している。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・2月の後半になってから来客数が伸び、売上、来客数とも大きく前年をクリアできそうである。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・相談受付件数やプラン依頼が大幅に増えてきており、特殊業務の人員を含めた人繰りや業者の手配が急務となっている。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新築工事やリフォーム工事で、消費税率の引上げの影響による受注増が見られるようになってきた。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・消費税率の引上げの影響か、土地を確保した具体的な計画のある客が多いと感じる。
変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・購買意欲は弱いままで、あまり変化がないように思われる。
	商店街（代表者）	競争相手の様子	・例年だと1月末から2月にかけて冬物から春夏物へと商品が入れ替わるが、今年は冬物を継続して売り続ける店が多い。百貨店もまたしかりである。まだ先物よりバーゲン品のほうが売上があるからであろうが、資金繰りから先物を仕入れられないという店もあるかと思う。
	一般小売店〔事務用品〕（役員）	販売量の動き	・例年どおり2月は売上が上がらない時期と業界的に言われているがそのとおりの推移となり、売上が悪かった。3月にはまとまったものが期待できる予定である。
	百貨店（営業担当）	単価の動き	・融けては降る雪の影響で春物の動きも鈍く、高単価商品の動きも大変鈍かった。1月からのセールの名残がある時期でもあるので、割引率の高い商品ばかり動きがみられた。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・クリアランスもほぼ終盤になり、客の動きとしてはセールというより春物に移行しているが、気温がなかなか上がらないこともあり、セール品で底値になっているもののなかから選んでいる。ただ、冬物のセール品もほとんど商品が残っておらず、サイズにも偏りがある。かといって春物を店頭に並べても売れる雰囲気ではない。春物も欲しいがまだまだ寒いので冬物を買いたい求めるが、店頭には冬物のセール品も少ないという状況になっており、売上に繋がっていない。
	スーパー（店長）	単価の動き	・客の買上点数が前年同月比で増えていない状況である。特に食品、菓子、果物で悪化している。食品系はスーパーだけでなく、ドラッグストアなど他の業態とも競合しており、必要な数量以外は買われていないのが原因かと思われる。
	スーパー（総務担当）	お客様の様子	・商品動向としては、菓子、果実といったし好品の点数が増えない状況が続いており、必需品については横ばいである。地元スーパーの店舗縮小、再生などもあり、小売業界は厳しい状況と思われる。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・ここ数か月ほど前年同月比で変化はない。競合店開店の影響で2号店での売上が低いこともあり、低レベルで安定している。
	コンビニ（店長）	それ以外	・3月に向けて全面改装準備に入っており商品の売り減らしが2月10日から中旬までであったため、販売数や売上、従来の商品準備量で判断できなかった。そのため来客数や同一の客の来店頻度で判断している。その結果、何も購入せず帰った客もいたため売上の減少はあったものの、来店頻度自体は3か月前及び従来の月と変わらず減少していない。また、し好品の売上は従来どおりだった事もあり、景気自体は変わらないと判断している。
	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・セールも一服し、また寒い日も多かったため、春物の先物買いが活発化せず、販売量が伸びない。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・景気回復への期待感はあるものの、現実的には一般消費者の収入が増えているわけではなく、売上の増加まで至っていない。
	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・景気の反応が非常に鈍い。起伏がない。喜びも悲しみもない。これらが2月の印象である。円安や株高の恩恵を受けている人は多いと思われるがどうなのかと考えると。円安の悪い面が出ているようにも感じている。
衣料品専門店（総括）	販売量の動き	・1人の客の買上量に変化が見られない。	

	家電量販店（店長）	お客様の様子	・新生活の準備の時期だが、本当に生活に必要な最低限の物しか求めていない。前年も傾向はあったが今年は特に感じられる。
	家電量販店（店長）	販売量の動き	・省エネ家電やお掃除ロボットといった伸びている商品でなんとかカバーしている。
	家電量販店（管理本部）	販売量の動き	・ここ4か月間、前年同月の販売量と比較して変動がない。
	自動車備品販売店（従業員）	単価の動き	・依然として、大きく集客は減少していないが単価は前年同月比10%低下が続いている。客の購買意欲に変化は見られず、景気の回復は実感できない。
	住関連専門店（店長）	お客様の様子	・円安や株価の上昇はあるが、一般の客の動きまでは変わっていない。相変わらずの節約志向に変化はない。
	その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・昔から2、8月は暇であるといわれているが、そのとおり暇であった。
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	単価の動き	・燃料の高騰により、客の動きがやや鈍ってきている。
	その他専門店〔医薬品〕（総務担当）	来客数の動き	・冬場の買物は天候に左右されることが多い。降雪時には、当然ながら来客数は少なくなるが、晴れた日にまとめて買物をしており、月間で通してみれば来客数に変化は見られない。一時期、中国からのPM2.5が話題になり、マスクの需要は増加したが、現在は通常ベースに戻っている。
	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	販売量の動き	・衣料品の売上は堅調であったが、冬の生活関連品や身の回り品、防寒関連が全体的に不調であった。施設全体では販売量は横ばいである。
	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・鉄板焼き部門が昼も夜も好調で前年同月比130%近い売上増である。利用する客は個人での利用が大半だが、久しぶりに建設関係の接待も入ってきている。しかし、経営する旅館やレストラン全体をみれば、売上に大きな変化はない。
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・9月以降集客に苦戦している。年が明けても状況は変わらない。
	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・季節がら来客数も増えてきているが、それ以上に安価な商品も高額な商品も客の選別が厳しく、少しでも割安感、お得感のあるものが選ばれており、客の財布のひもはまだ固いままである。
	通信会社（役員）	販売量の動き	・客の中には株価上昇に伴う保有金融資産価値の上昇を話題とする人も多いが、現状ではそれが契約数の増加につながってはいない。
	その他レジャー施設（職員）	お客様の様子	・新規会員の獲得が伸びず、会員数が増加しない。
やや悪くなっている	スーパー（総務担当）	単価の動き	・食品の売上が前年同月を下回っている。来客数や買上点数にはそれほど大きな差は見られないが、1品当たりの単価が低下している影響だと思われる。競合する食品スーパーやドラッグストアの特売価格の低下によって、1円でも安いものを買って回っているためだと思われる。
	スーパー（統括）	来客数の動き	・ここ2年間程度、来客数は低下していたが、今月は前年同月比で見ると下げ止まっている。しかし、買上点数についてはほぼ全部門で落ちている。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・客単価に関してはほぼ前年並みで推移しているが、来客数は微減となっている。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・学生の前倒し購入が目立つ一方、通常購入が半減している。
悪くなっている	スナック（経営者）	来客数の動き	・団体客がなく、前年でも悪かった同月と比較しても売上は9割にも満たず、単月では赤字である。雰囲気だけでも明るくなっていくと話す客もいるが、それは一部業種だけではないかと思われる。実態は大変悪く感じられる。
	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・前年同月比で総売上は84%、宿泊人数は79%、宿泊単価が103%となった。企画募集が前年同月比59%と高速道路におけるバス事故でバスツアーが落ち込んでいる。また、個人客は前年同月比88%で伸ばせなかった。
	タクシー運転手	販売量の動き	・前年同月と比較して、非常に売上が落ちている。

企業 動向 関連  (北陸)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・まだまだ力強さに欠け、単価は厳しいものの、受注面で少し動きがでている。
		繊維工業（経営者）	取引先の様子	・次のシーズンの前向きな商品開発の件数が多く寄せられている。
		精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社の国内向け高付加価値商品の販売量も、依然として伸び続けている。また海外事業における円安による利益貢献も少なくない。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・為替の動きが円高から円安へと修正されたことにより、海外への機械の輸出関連企業においてやや改善の兆しがみられる。
		司法書士	取引先の様子	・不動産登記の減少が止まったように感じる。分譲マンションの売行きも好調である。
税理士（所長）	取引先の様子	・土木建築業の関与先で、補正予算の関係であろうが、受注量が非常に多くなっている。仕事が急にきており、こなしきれないほどの量となっている。製造業では、間もなく年度末で足踏みの状況もみられるが、円安の方向に向かっていと確実に思われ、新規の設備投資の動きが活発化しており期待が持てる。		
変わらない	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は大きく増減せず推移している。	
	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・住宅市場は、客の情報によれば少し動き出していると聞いているが、当社の売上についてはまだ横ばい状況が続いている。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前は年末工期の仕事を完成させるのに、天候不順のなか大変忙しかったが、今月は天候が悪いなかでの年度末工期の官庁工事や、オープン日が決まっているコンビニの工事で多忙である。	
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・低価格の受注競争がいったん落ち着いたかに見えたが、破格の価格で見積を提出する業者があり、し烈な受注価格競争が再燃している。	
	輸送業（配車担当）	取引先の様子	・円安により輸出関係の商品が動くと言われるが、まだ現状では荷動きが良くなったと感じられない。	
	輸送業（配車担当）	受注量や販売量の動き	・円安、株高だが現在は特に明るい兆しは見られない。さらなる軽油価格の上昇が心配される。	
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・スーパーや耐久消費財の小売店とも、売上は前年同月実績を確保することが難しい状況になっている。3か月前と比較しても上昇機運にはない。足元の景気は横ばいとみている。	
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者に聞いたところ、徐々に動きが出ているとする意見と、まだ動きがないとする意見が半々だった。	
やや悪く なっている	食料品製造業（役員）	それ以外	・前月同様、販売価格は下がったままで推移している。また燃料費は前月に引き続き上がってきている。直近では毎月燃料価格の見直しが発生している。	
	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・円安で景気浮揚の期待があるが、実際に取引先をはじめ企業では設備投資までには至っていない。	
悪く なっている	-	-	-	
雇用 関連  (北陸)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・職種ではIT系の求人数がやや良い状況を維持しているが、今の予想ではピークは秋ごろまでであろう。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・2月の求人広告の売上は前年同月比18%の減少であったが、減少幅が縮小するなど、傾向的には上向いている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人件数が増えてきている。
	変わらない	人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・求人内容でスキルを問われるため、成約が厳しい状況は変わっていない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数がほとんど変わらない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は増加しているものの、正社員求人の伸びは小さく、新規求人のパート、臨時求人の割合が非常に多い。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・建設業で求人が増加しており、政権交代による期待の声が聞かれる。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、前年同月比で微増ではあるが増加を続けているなかで、製造業においては減少傾向が続いている。	

	民間職業紹介機 関（経営者）	求人数の動き	・製造業関連の人材紹介、派遣の依頼が増えていな い。
	学校〔大学〕 （就職担当）	求人数の動き	・特に変化はない。
やや悪く なっている	-	-	-
悪く なっている	-	-	-